

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 03-005

PDCA	事務事業名	ふるさと新発見事業	部課等名	企画部 企画課 企画担当	担当 内線等	吉川 226		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第1章 協働によりともに高め合うまち						
		節： 第1節 協働のまちづくりの推進						
		基本施策： 2. コミュニティ活動支援						
		単位施策：						
	根拠法令等	個別施策：						
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績			28年度	29年度	30年度	単位
		①地域資源を活用した協働イベント日数（雨天中止含む）			2	1	1	日
		②地元住民を中心としたワークショップ開催回数			-	-	-	回
		③地域資源の活用を促進するためのツール制作			-	1	1	点
		事業費			207	232	151	千円
人件費			1,588	1,904	1,874	千円		
総事業費			1,795	2,136	2,025	千円		
活動単位当たりのコスト			28年度	29年度	30年度	単位		
①半田市民一人当たりにかかるコスト			15	17.8	16.9	円		
②								
③								
成果	成果指標	成果指標			28年度	29年度	30年度	単位
		新しい重点地区である成岩地区のスタートアップとして、地域住民の地元への愛着や誇りを醸成するための仕組みをつくり、それに基づいたイベント等を企画・開催する。	実績値					
			目標値					
		実績値						
		目標値						
		実績値						
目標値								
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない	
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更		
	事業の評価・課題	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—	
		C 5年サイクルでの取組みの最初の年として情報収集に努めた。その中で得た情報をもとに、成岩の魅力をコンパクトに集約した「ならわまち歩きマップ」を製作し、配布した。製作にあたり、成岩のママサークルや観光ガイド協会等の協力を得たことで、若い世代の方にも馴染みやすい情報を盛り込むことができた。マップ自体は非常に好評であり、成岩の魅力を再認識してもらうことができた。しかし、地域に関心の低い若い世代や転入者に興味を持ってもらうための情報発信方法については今後の課題である。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 長年成岩に住んでいる方はもちろん、地域に関心の低い方にも成岩に興味を持ってもらえるよう、マップ等を配布するだけでなく、実際に参加できるイベント等を行い、成岩の魅力を直接見たり聞いたりすることで、地域への愛着の醸成を図っていく。						
	令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位		
		重点地区2年目の年として、成岩地区の魅力を住民へ発信するために、コンテンツの制作やイベント等を企画・開催し、地元への愛着や誇りを醸成していく。						